

1 宮古市教育委員会の事務に関する点検・評価について

(1) 趣旨

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、令和7年度（2025年度）に宮古市教育委員会が取り組んだ事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、課題や取り組みの方向性を明らかにするものです。

点検及び評価については、その結果を市議会に提出するとともに、市民に公表し、効果的で開かれた教育行政の推進を図ります。

(2) 点検・評価の対象

宮古市総合計画（後期基本計画）では、教育に関する基本施策として「郷土を誇り次代につなぐひとづくり」を掲げており、これを推進するため施策の体系を「学校教育の充実」、「生涯学習の推進」、「スポーツ・レクリエーションの振興」、「文化の振興」としています。

また、「郷土を誇り次代につなぐひとづくり」を推進するための教育行政における具体的施策を示した「宮古市教育振興基本計画（2025-2029）」においても同様の施策の体系としています。

本報告書では、教育委員会の活動状況及び「宮古市教育振興基本計画（2025-2029）」に基づき実施した主な事務事業の執行状況を点検及び評価の対象としています。

(3) 点検・評価の方法

令和7年度（2025年度）の主要な事務事業の点検及び評価を教育委員会事務局内で行ったうえで、教育に関し学識経験を有する4人の方から外部の視点によるご意見を伺いました。

氏 名	所属名
山名 秀樹	宮古地区退職校長会
加藤 敏子	宮古市社会教育委員
川崎 賢一	宮古市スポーツ推進委員協議会
小野寺 文雄	宮古市芸術文化協会

参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等） 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(4) 点検・評価の構成

ア 施策

宮古市教育振興基本計画（2025-2029）における「1 学校教育の充実」、「2 生涯学習の推進」、「3 スポーツ・レクリエーションの振興」、「4 文化の振興」の4つの施策です。

イ 基本事業

宮古市教育振興基本計画（2025-2029）における24の基本事業で、詳細は次のページに記載しています。

ウ 施策・基本事業の方向

施策・基本事業の基本方向を記載しています。

エ 事務事業費

事業全体の決算見込額を円単位で記載しています。

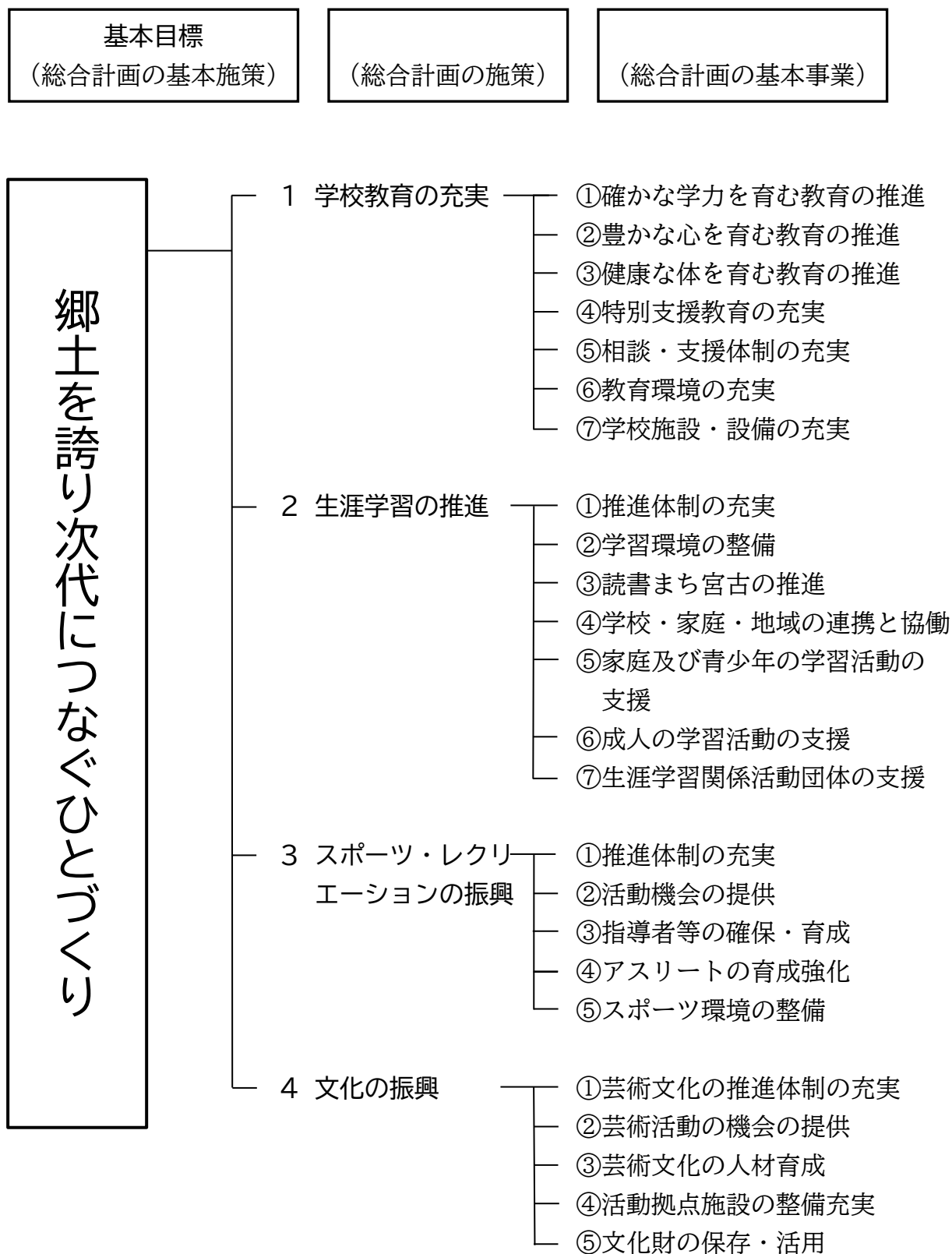
オ 活動実績・成果

主な活動実績を記載しています。

カ 施策の総括

施策の事業ごとに評価の総括を記載しています。

(5) 宮古市教育振興基本計画（2025-2029）・施策の体系



2 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会について

教育委員会は、創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習、学校その他の教育機関の設置・管理、学校教育、社会教育、スポーツ、文化等の教育行政を一体的に推進する、市長からは独立した合議制の執行機関です。

(2) 教育委員会の組織

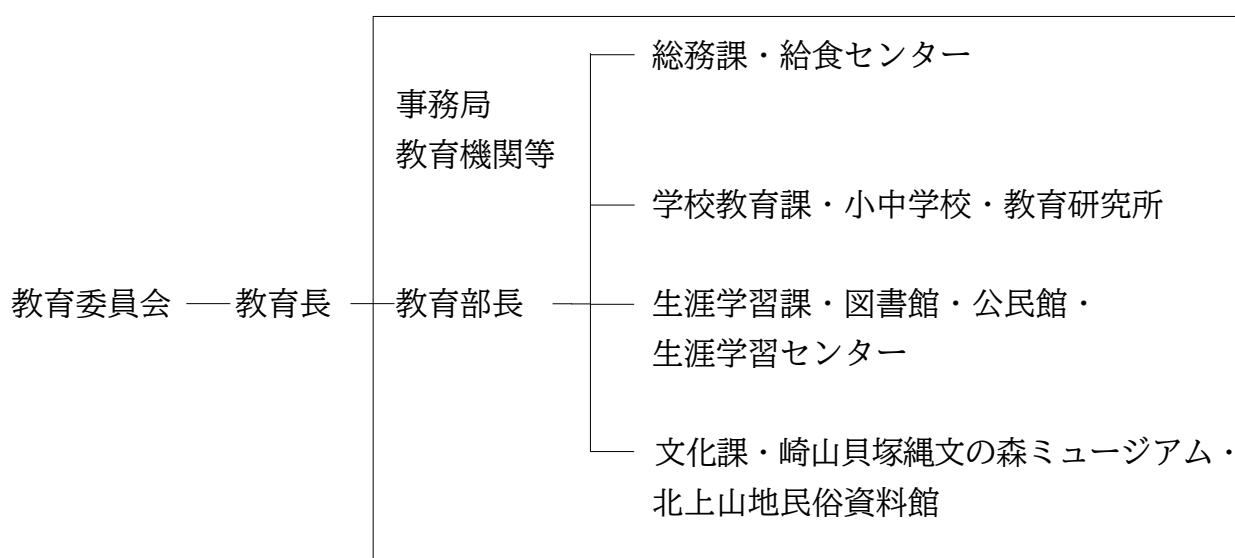
宮古市教育委員会は、教育長と4人の教育委員で組織されています。

教育長及び教育委員は、人格が高潔で、教育、学術、文化等に関して識見を有する者を市長が市議会の同意を得て任命します。

教育長の任期は3年、教育委員の任期は4年で、再任されることもあります。

教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。

また、教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどり、統括し、所属の職員を指揮監督します。



(3) 教育委員会委員の構成（令和7年度）

職名・氏名	委員としての任期	教育長任期 (教育長職務代理者任期)
教育長 伊藤 晃二	—	令和5年8月30日から 令和8年8月29日まで (令和8年3月31日退任)
教育長職務代理者 荒谷 榮子	令和3年8月30日から 令和7年8月29日まで 令和7年8月30日から 令和11年8月29日まで	令和3年8月30日から 令和7年8月29日まで 令和7年8月30日から 次の職務代理者が指名されるまで
委 員 平井 亮吉	令和6年8月30日から 令和10年8月29日まで	—
委 員 杉本 裕樹	令和4年8月30日から 令和8年8月29日まで	—
委 員 大村 光代	令和5年8月30日から 令和9年8月29日まで	—

(4) 総合教育会議の開催状況及び審議内容

総合教育会議は、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、平成27年度から設置しています。

期 日	会 場	議 題
令和7年10月6日(月)	市民交流センター2階 多目的ホール	第3期県立高等学校再編計画(当初案)における宮古市内の再編見通しについて

(5) 教育委員会会議の開催状況及び審議内容

教育委員会会議は、原則として毎月1回定例会を開催し、その他必要の都度臨時会を開催しています(令和7年度は、定例会12回、臨時会3回の計15回開催)。

【4月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
4月25日	市役所5階 5-3会議室	議案第1号	宮古市教育支援委員会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第2号	宮古市スポーツ推進委員の任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第3号	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会の委員の解任の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第4号	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第5号	宮古市北上山地民俗資料館運営委員会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第1号	令和6年度第2回宮古市社会教育委員会会議の会議結果について	—

		報告第2号	令和6年度第2回宮古市スポーツ推進審議会の会議結果について	—
		報告第3号	第5回宮古市部活動地域移行検討委員会の会議結果について	—
		報告第4号	令和6年度第2回宮古市立図書館協議会の会議結果について	—

【5月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
5月26日	市役所4階 特別会議室	議案第6号	令和7年度宮古市一般会計補正予算（第1号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第7号	宮古市学校運営協議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第8号	宮古市スポーツ推進審議会の委員の解任の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第9号	宮古市スポーツ推進審議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決

【6月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
6月24日	市役所4階 特別会議室	議案第10号	宮古市社会教育委員の解任の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第11号	宮古市社会教育委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第5号	宮古市議会定例会令和7年6月定例会議一般質問に係る答弁について	—

【7月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
7月24日	市役所4階 特別会議室	議案第12号	令和7年度宮古市一般会計補正予算（第2号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		報告第6号	令和7年度第1回宮古市社会教育委員会議の会議結果について	—

【8月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
8月25日	市役所5階 5-3会議室	議案第13号	令和6年度宮古市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価の実施に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第14号	令和8年度使用教科用図書の採択に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第15号	宮古市文化財保護審議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決

		議案第16号	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第17号	宮古市北上山地民俗資料館運営委員会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第7号	令和7年度宮古市文化財保存活用地域計画推進協議会の会議結果について	—
		報告第8号	令和7年度宮古市北上山地民俗資料館運営委員会の会議結果について	—

【9月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
9月25日	市役所4階 特別会議室	議案第18号	令和7年度宮古市一般会計補正予算（第3号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第19号	宮古市社会教育委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第20号	宮古市公民館運営審議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第21号	宮古市立図書館協議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第9号	宮古市議会定例会令和7年9月定例会議一般質問に係る答弁について	—

【10月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
10月28日	市役所4階 特別会議室	議案第22号	宮古市立学校職員の服務規程の一部を改正する訓令	原案可決
		議案第23号	宮古市学校運営協議会の委員の解任及び任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第24号	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会の委員の任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認

【11月臨時会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
11月5日	市役所4階 特別会議室	報告第10号	組織の見直しについて	—

【11月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
11月21日	宮古保健センター 大会議室	議案第25号	教育に関する事務に係る部分の歳入歳出予算及び教育に関する事務に係る条例を提案することへの意見に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第26号	宮古市学校運営協議会の委員の解任及び任命に関し議決を求めることについて	原案可決

		報告第11号	令和7年度第2回宮古市社会教育委員会議 の会議結果について	—
		報告第12号	令和7年度第1回宮古市立図書館協議会 の会議結果について	—
		報告第13号	令和7年度宮古市文化財保護審議会の会議 結果について	—
		報告第14号	令和7年度宮古市崎山貝塚縄文の森ミュー ジウム運営協議会の会議結果について	—

【12月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
12月24日	市役所4階 特別会議室	議案第27号	教育に関する事務に係る部分の歳入歳出予 算及び教育に関する事務に係る条例を提案 することへの意見に関する臨時専決処理に 関し承認を求めることについて	承認
		報告第15号	宮古市議会定例会令和7年12月定例会議 一般質問に係る答弁について	—

【1月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
1月26日	—	—	宮古市立川井小学校・中学校の視察研修	—

【2月臨時会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
2月3日	市役所4階 特別会議室	議案第28号	令和8年度宮古市教育行政方針に関し議決 を求めることについて	原案可決
		議案第29号	教育に関する事務に係る部分の歳入歳出予 算を提案することへの意見に関し議決を求 めることについて	原案可決

【2月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
2月26日	宮古保健センター 大会議室	議案第30号	教育に関する事務に係る部分の歳入歳出予 算を提案することへの意見に関する臨時専 決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第31号	教育財産の用途廃止に関し議決を求める ことについて	原案可決
		議案第32号	宮古市教育に関する事務の職務権限の特例 に関する条例の施行に伴う関係規則の整理 等に関する規則	原案可決
		議案第33号	宮古市学校給食の実施に関する規則の一部 を改正する規則	原案可決
		議案第34号	教育委員会行政組織の再編に伴う関係訓令 の整理に関する訓令	原案可決
		議案第35号	宮古市教育委員会の権限に属する事務の補 助執行に関する規程	原案可決

		議案第36号	宮古市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第37号	宮古市スポーツ推進審議会の委員の任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第38号	宮古市部活動地域移行検討委員会の委員の任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第39号	宮古市教育委員会教育長の辞職に関し同意を求めることについて	同意

【3月臨時会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
3月6日	市役所4階 特別会議室	議案第40号	教育委員会事務局職員等の人事異動に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第41号	令和8年度宮古市立小・中学校長等の人事の内申に関し議決を求めることについて	原案可決

【3月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
3月25日	市役所4階 特別会議室	議案第42号	宮古市立学校職員の服務規程の一部を改正する訓令	原案可決
		議案第43号	会議室等利用要綱等を廃止する告示	原案可決
		報告第16号	宮古市議会定例会令和8年3月定例会議一般質問に係る答弁について	—
		報告第17号	令和7年度第3回宮古市社会教育委員会議の会議結果について	—
		報告第18号	令和7年度第1回宮古市スポーツ推進審議会の会議結果について	—
		報告第19号	第6回宮古市部活動地域移行検討委員会の会議結果について	—
		報告第20号	令和7年度第2回宮古市文化財保存活用地域計画推進協議会の会議結果について	—

(6) 教育委員会に係る条例、規則及び訓令の制定及び改正について

令和7年度における教育委員会に係る条例、規則及び訓令の制定及び改正は、下記のとおりです。

【条例改正】

公布年月日	条例番号	件 名
令和7年6月12日	宮古市条例第25号	宮古市奨学資金貸付条例の一部を改正する条例

【規則改正等】

公布年月日	規則番号	件 名
令和 7 年 6 月 12 日	宮古市規則第 19 号	宮古市奨学資金貸付条例施行規則の一部を改正する規則
令和 8 年 3 月 4 日	宮古市教育委員会規則第 1 号	宮古市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の施行に伴う関係規則の整理等に関する規則
令和 8 年 3 月 9 日	宮古市教育委員会規則第 2 号	宮古市学校給食の実施に関する規則の一部を改正する規則
令和 8 年 3 月 31 日	宮古市規則第 13 号	宮古市生涯学習センター条例施行規則
令和 8 年 3 月 31 日	宮古市規則第 14 号	宮古市公民館条例施行規則
令和 8 年 3 月 31 日	宮古市規則第 15 号	宮古市立図書館条例施行規則
令和 8 年 3 月 31 日	宮古市規則第 16 号	宮古市スポーツ推進委員に関する規則
令和 8 年 3 月 31 日	宮古市規則第 18 号	宮古市文化財保護条例施行規則
令和 8 年 3 月 31 日	宮古市規則第 19 号	宮古市文化財保護審議会運営規則
令和 8 年 3 月 31 日	宮古市規則第 20 号	宮古市北上山地民俗資料館条例施行規則
令和 8 年 3 月 31 日	宮古市規則第 21 号	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム条例施行規則
令和 8 年 3 月 31 日	宮古市規則第 22 号	宮古市崎山貝塚縄文の森公園条例施行規則

【訓令改正】

公布年月日	条例番号	件 名
令和 7 年 10 月 28 日	宮古市教育委員会訓令第 4 号	宮古市立学校職員の服務規程の一部を改正する訓令
令和 8 年 3 月 4 日	宮古市教育委員会訓令第 1 号	教育委員会行政組織の再編に伴う関係訓令の整理に関する訓令
令和 8 年 3 月 4 日	宮古市教育委員会訓令第 2 号	宮古市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規程
令和 8 年 3 月 25 日	宮古市教育委員会訓令第 3 号	宮古市立学校職員の服務規程の一部を改正する訓令

3 施策別の主要事務の点検、評価

1 学校教育の充実

- ①確かな学力を育む教育の推進
- ②豊かな心を育む教育の推進
- ③健康な体を育む教育の推進
- ④特別支援教育の充実
- ⑤相談・支援体制の充実
- ⑥教育環境の充実
- ⑦学校施設・設備の充実
- ※学校教育の充実の総括

2 生涯学習の推進

- ①推進体制の充実
- ②学習環境の整備
- ③読書まち宮古の推進
- ④学校・家庭・地域の連携と協働
- ⑤家庭及び青少年の学習活動の支援
- ⑥成人の学習活動の支援
- ⑦生涯学習関係活動団体の支援
- ※生涯学習の推進の総括

3 スポーツ・レクリエーションの振興

- ①推進体制の充実
- ②活動機会の提供
- ③指導者等の確保・育成
- ④アスリートの育成強化
- ⑤スポーツ環境の整備
- ※スポーツ・レクリエーションの振興の総括

4 文化の振興

- ①芸術文化の推進体制の充実
- ②芸術活動の機会の提供
- ③芸術文化の人材育成
- ④活動拠点施設の整備充実
- ⑤文化財の保存・活用
- ※文化の振興の総括

令和 7 年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	①	確かな学力を育む教育の推進	学校教育課
施策・基本事業の方向 ●「子どもがどのように学ぶか」を視点とし、幼保小連携や小中連携を図りながら、「子どもを主語にした学び」の実現に取り組みます。 ●I C T機器の効果的な活用により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通して、各教科等における主体的・対話的で深い学びへとつなげます。 ●放課後学習支援事業等を継続することにより、児童生徒の基礎的・基本的な内容の確実な習得を目指すとともに、学習習慣の確立を図ります。			
事務事業費（令和 7 年度決算見込額）			26,632,031 円
活動実績・成果			
〔教育研究所運営事業〕 8,985,177 円 ・学校との連携を進め、教育課程や教材、教育指導技術等の調査研究を行い、教職員の資質向上を図った。教育研究所研究発表会において、実践の成果を各校に広めることができた。			
〔学力向上事業〕 15,255,110 円 ・教員の指導力向上と児童生徒の学力向上を図るため、小中学校において教育研究、学力検査、調査研究等を行った。また、指導力向上を図るための研修会等を実施した。 ・小学生の学力向上のため放課後学習支援員を 3 人配置して、市内全 13 校の小学校にて放課後の学習支援を行った。			
〔総合学習推進事業〕 2,391,744 円 ・各学校の特色ある教育活動を通じて、児童生徒が自ら考え行動する力の育成を図った。			

令和 7 年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	②	豊かな心を育む教育の推進	学校教育課
施策・基本事業の方向 ●友好都市等交流事業において、子ども間の交流を深め、郷土が育んできた伝統や文化を大切にする心の育成と今後のまちづくりに参画する意識を醸成します。 ●これまでの復興教育を通して学んだものを引き継ぐとともに、防災の視点を重視してさらに取り組み、復興・発展を支える人づくりを推進し、「ふるさと宮古」に誇りを持つことができるよう指導の充実を図ります。 ●学校図書の充実や学校図書館支援員の配置により、学校の読書活動及び読書指導を推進し、子どもの豊かな知性や感性等を育みます。 ●子どもの発達段階に応じたキャリア教育の推進を図ります。また、環境・エネルギー教育の充実を図ります。			
事務事業費（令和 7 年度決算見込額）			74,930,961 円
活動実績・成果			
〔国際理解推進事業〕 24,750,000 円 ・小中学校に A L T を 5 人派遣し、言語や文化に対する理解を深めるとともに、聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと等について、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育むことができた。			
〔キャリア教育事業〕 1,593,150 円 ・水産課と連携し、「宮古の漁業見学・体験」を実施し、地元産業への理解を深めることができた。 ・市内 37 の企業団体の協力により、46 のブースを設け、参加者たち（2 日間のべ 267 名）が市民になりきって様々な仕事の体験を行う「こどものまち『みやっこタウン 2025』」を開催した。地域理解の促進、コミュニケーション力や主体性などの非認知能力の向上につながった。			
〔子ども読書活動支援事業〕 36,641,608 円 ・学校図書館支援員を 11 人配置し、小中学校図書館の環境整備、学校が行う図書関連行事、読書に関する啓発活動等を行い、児童生徒の読書に対する意識を高めることができた。			
〔ニュートンスクール事業〕 190,980 円 ・お茶の水女子大学露久保先生他 5 名を講師として、実験や体験活動を行った。宮古市内の小学生 75 名が参加し、自然科学分野に関する興味関心が向上した。			

[友好都市等交流事業] 5,010,620 円

- ・「多良間村交流事業」では児童生徒の相互訪問、「黒石市児童交流事業」、「大仙市生徒交流事業」、「室蘭市生徒交流事業」では、宮古市児童又は生徒の派遣を行った。交流学習や体験活動を通じて、互いの郷土について相互理解を図ることができた。

[復興教育事業] 6,744,603 円

- ・「いわての復興教育」プログラムに基づき、「いきる」「かかわる」「そなえる」の3つの教育的価値を関連付けた活動を通して、改めて自分の郷土のことを見つめ直した。

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	③	健康な体を育む教育の推進	学校教育課、教委総務課
施策・基本事業の方向 ●子どもが積極的に運動に取り組むことができる教育環境づくりを進めます。 ●中学校の部活動を支援するとともに、部活動の地域移行が円滑に進むように学校と連携して取り組みます。 ●日常の健康観察を重視し、定期健康診断などによる保健管理の徹底を図るとともに、健康教育及び食育、口腔衛生の充実を図ります。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			594,579,098 円
活動実績・成果			
[パワーアップ事業] 2,224,720 円 ・中学校の部活動において、スクールバスの運行及び会場使用料を支援することにより、複数校での活動を推進し、適正人数に満たない部活動の活性化及び合同練習による技術等の向上を図った。 [保健事業] 25,750,079 円 ・児童生徒の健康管理のため、定期健康診断を実施した。 ・教職員の健康管理のため、定期健康診断やストレスチェック等を実施した。 ・市内全小中学校で、学校歯科医の指示書のもと、安全に配慮しながらフッ化物洗口事業を実施した。 [学校給食] 566,604,299 円 ・給食食材の地産地消に取り組み、安全・安心な学校給食を提供した。 ・食生活と健康について学びを深めるため、児童生徒を対象に食育指導を行った。			

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	④	特別支援教育の充実	学校教育課
施策・基本事業の方向 ●障がいがある子どもを含めたすべての子どもにとってわかりやすい授業づくりに取り組みます。 ●特別支援教育支援員の配置や就学支援相談員の配置により、障がいなどがある子どもに対する支援体制の充実を図ります。 ●個別の教育支援計画の策定を推進し、関係機関と連携しながら子ども一人ひとりに応じた支援を行います。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			140,248,534 円
活動実績・成果			
[幼児言語障害教育事業（ことばの教室）] 11,363,444 円 ・「幼児ことばの教室」において、言語に障がいや遅れがある就学前の子どもと保護者を対象に、発音の仕方や発達への不安等について、指導及び相談を行った。 [特別支援教育事業] 128,885,090 円 ・特別な支援が必要な児童生徒が在籍している小中学校に特別支援教育支援員（15校：35人）、介助員（3校：3人）を配置し、学校生活上の介助や学習活動の支援を行った。 ・学校教育課に就学支援相談員を2人配置し、保護者及び学校の相談や関係機関との連携調整にあたった。 ・日常的な医療的ケアを必要とする児童生徒が、安心して学校生活を送れるようにするため、学校において医療的ケアを実施した。			

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	⑤	相談・支援体制の充実	学校教育課
施策・基本事業の方向 ●子どもの不登校やいじめ等に対処するため、専門的知識を持った相談員や支援員を配置します。 ●大規模災害等による心のケアも含めた家庭、地域、関係機関との連携による教育相談体制の整備・充実を図ります。 ●子どもの実態把握の一つとして「1人1台端末」を活用したアンケートを定期的に実施し、課題の未然防止と早期発見・早期対応に役立てます。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			35,405,851 円
活動実績・成果			
[教育相談事業] 3,287,107 円 ・教育研究所に教育相談員を1人配置し、児童生徒本人や保護者からの相談101件（面談41件、電話17件、訪問36件、巡回7件）に対応した。児童生徒の状況を細やかに把握することができ、相談事項については、学校訪問を行い指導の状況等を確認し、学校、サーモン教室及びその他関係機関と連携して取り組みを進めた。			
[不登校児童生徒支援事業] 10,263,123 円 ・教育研究所内の「サーモン教室」に教育指導員を3人配置し、通級児童生徒に相談指導を行った。指導主事、学校との連携を図り、児童生徒の現状把握や「サーモン教室」の利用について、一人ひとりに応じた指導を行い、学校復帰や高校進学につなげることができた。 ・不登校の状態にある児童生徒の居場所を確保できるようフリースクール等の利用料に対する支援を行った。			
[学校支援推進事業] 21,855,621 円 ・学校支援員を5人配置し、学校の事情に応じた学習支援や生徒への対応がきめ細やかに行われ、学校生活の安定や基礎学力の向上に効果があった。 ・部活動指導員を5人配置し、教職員の勤務負担軽減及び多忙化解消に向けて取り組んだ。			
[魅力ある学校づくり事業] ・不登校児童生徒に対する効果的な支援を行うため、市内全校で取り組みを行った。			

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	⑥	教育環境の充実	学校教育課
施策・基本事業の方向 ●「1人1台端末」の機器更新や学校のネットワーク改善など、ICT教育環境の整備をさらに推進し、子ども一人ひとりの情報活用能力の向上に繋がります。 ●コミュニティ・スクールを有効に活用し「地域とともにある学校づくり」の推進を図るとともに、保護者や地域の評価を学校運営に生かしていきます。 ●経済的な理由により就学が困難な子どもの保護者に対しては、学用品費の給付などの就学支援を行います。 ●遠距離通学する子どもに対しては、通学時の交通手段の確保を図ります。 ●高校・大学等への進学希望者に対しては、奨学金の無利子貸与による学費の一部支援を実施します。 ●少子化による学校の小規模化に対応するため、学校間連携を積極的に推進していきます。 ●小中学校の学校給食費完全無償化を継続して実施します。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			540,921,524 円
活動実績・成果			
〔育英事業〕 346,181,273 円 ・進学を希望する者に対して、奨学資金の貸付けを行った。 〔就学援助事業〕 24,618,709 円 ・経済的に就学困難な児童生徒の保護者に対して、学校教育法の規定に基づき必要な援助を行った。 〔就学事務事業〕 933,045 円 ・令和8年度の小学校入学予定者 258 人に対し、健康診断及び知能検査を実施した。 〔特別支援教育就学奨励事業〕 919,217 円 ・特別支援学級の児童生徒の保護者に対して、その負担能力に応じて必要な経費の補助を行った。 〔コミュニティ・スクール〕 251,790 円 ・市内全 11 中学校区に学校運営協議会を設置し、学校区ごとに年2～3回の協議会を開催した。方針の確認や地域の課題について、熟議する場を設けることができた。 〔教育助成事業〕 6,761,121 円 ・小中学校の文化・体育活動及び教育関係団体の小規模・複式学校教育研究会に対して補助を行った。 ・交通機関利用以外の遠距離通学の児童生徒を持つ家庭に対し、1世帯あたり3万			

円の助成を行った。

[児童生徒通学委託事業] 161,256,369 円

- ・遠距離通学者（通学距離片道4 km以上の小学生、片道6 km以上の中学生）の利便を図るため、スクールバス、タクシーによる登下校の送迎を実施し、小学生177人、中学生100人が利用した。

[学校給食] 566,604,299 円 （再掲）

- ・児童生徒の学校給食費の無償化に継続して取り組んだ。

令和 7 年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	⑦	学校施設・設備の充実	学校教育課、教委総務課
施策・基本事業の方向 ●学校施設の防犯設備を整備します。 ●老朽化した学校施設は、脱炭素化を念頭に計画的に改修などを行います。 ●津波浸水想定区域内にある学校施設の移転について検討します。			
事務事業費（令和 7 年度決算見込額）			508, 059, 273 円
活動実績・成果			
[小中学校維持管理事業] 301, 776, 354 円 ・小中学校施設の維持管理を行うとともに、児童生徒の教育環境の改善を図るため、照明 L E D 化工事に向けた実施設計を行った。 [教材等整備事業] 60, 760, 677 円 ・小中学校の消耗品、備品、学校図書、理科教育備品等の教材を整備し、学校教育の充実を図った。 [教育用コンピュータ整備事業] 145, 522, 242 円 ・児童生徒の情報教育を推進するため、教育用コンピュータ等の整備を行った。 ・児童生徒の個別最適な学びと教職員の負担軽減を実現するため、岩手県統合型校務支援システムを導入した。			

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	－	－	学校教育課、教委総務課
事務事業費（令和7年度決算見込額）			11,813,278 円
活動実績・成果			
[有害鳥獣被害防止対策（クマ被害）事業] 2,779,700 円 ・学校におけるクマ被害対策として、全校に熊撃退スプレーを配布し、安心安全な学習環境の整備に努めた。 [広報「宮古市教育委員会だより」の発行] 2,806,320 円 ・宮古市教育委員会だよりを、広報みやことともに年4回（6月、9月、12月、3月）、市内全世帯に配布し、市ホームページでも発信した。 [教育振興基金事業「生きる力を育む事業補助金」] 4,041,258 円 ・市内で活動の拠点がある個人及び団体（高校生が主体となる団体を含む）から9件の申請があり、教育振興基金を活用した事業費の補助を行った。 [東日本大震災教育支援金事業【震災対応分】] 2,186,000 円 ・震災で保護者を亡くした児童生徒（延べ9人）に対し、支援金及び定期金の支援を行った。			

「学校教育の充実の総括」

① 確かな学力を育む教育の推進

- ・児童生徒の資質・能力を育むために、主体的・対話的で深い学びの充実と、「指導と評価の一体化」の実現に向けた授業改善をより一層推進していく必要があります。
- ・学力調査結果（小6、中2）では、全校平均を下回る状況が続いていることから、教職員の資質向上を図るため、教育課程、教材、教育指導技術等の調査研究を引き続き行ってまいります。さらに、各学校においてICT機器の効果的な授業実践が推進されるよう、支援を図ってまいります。
- ・教員の指導力向上と児童生徒の学力向上を図るため、小中学校において教育研究、学力検査、調査研究等を行いました。引き続き児童生徒の実態を適切に捉え、教員が授業改善を図っていけるよう支援し、研修会等を開催してまいります。

② 豊かな心を育む教育の推進

- ・学校図書館支援員を活用し、学校が行う図書関連行事、読書に関する啓発活動等を行うとともに、学校図書館の環境整備を継続して行っていく必要があります。
- ・外国語指導助手を活用して、言語や異文化に対する理解を深めるとともに、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育みながら、自己肯定感を高める教育の充実を図ってまいります。

③ 健康な体を育む教育の推進

- ・児童生徒の体力や健康状態等を把握し、学校での教育活動や中学校の部活動の複数校での活動を推進し、適正人数に満たない部活動の活性化及び合同練習による技術等の向上を図ってまいります。
- ・児童生徒の保健管理を徹底するため、市内全小中学校において、安全に配慮しながら食生活の指導及び口腔衛生を実施してまいります。
- ・安全・安心な学校給食の提供に向け、共同調理場の調理設備を適正に管理し、厨房機器等の更新を進めます。さらに、給食食材の地産地消を推進し、児童生徒が「宮古産の食材」への理解を深められるよう、継続的な食育指導を行います。

④ 特別支援教育の充実

- ・支援が必要な児童生徒が、個々の状況に合った支援を受けるため、学校に特別支援教育支援員及び介助員を配置しております。今後も児童生徒が充実した学校生活を送る支援体制を継続する必要があります。

⑤ 相談・支援体制の充実

- ・教育研究所を中心に教師、児童生徒及び保護者に対する相談活動を実施するとともに、こども家庭センターやスクールカウンセラー、医療、福祉等の専門機関と連携した細やかな対応を行ってまいります。
- ・学校支援員を配置し、一人ひとりに応じた指導を行うことで小中学生の学校生活の安定を図ってまいります。また、部活動指導員を配置し、引き続き教員の勤務負担軽減と部活動指導の指導体制の充実を図ってまいります。
- ・教育相談員及び教育指導員を配置し、子どもの不登校や問題行動等に適切に対処し、家庭、地域及び関係機関との連携による教育相談体制の充実に努めてまいります。
- ・「宮古市いじめ防止基本方針」や各学校においての「いじめ防止基本方針」に従い、いじめ問題への対策のための組織的対応を促し、迅速かつ適切にいじめ問題等に対応してまいります。
- ・市内全小中学校で「魅力ある学校づくり」を展開し、子どもたちの「居場所づくりと絆づくり」に努めてまいります。

⑥ 教育環境の充実

- ・就学援助による経済的援助の推進を図ってまいります。
- ・運動部、文化部における大会出場への補助を行うことにより、児童生徒の活動の後押しをするとともに、保護者の経済的負担の軽減を図ってまいります。
- ・スクールバス及び送迎タクシーの運行により、遠距離通学となる児童生徒及びその保護者の通学に対する負担や不安の軽減を図ってまいります。
- ・児童生徒を取り巻く環境が大きく変化する中、家庭の経済的理由等により左右されることのないよう、学びを支える教育環境の充実を図ってまいります。

⑦ 学校施設・設備の充実

- ・児童生徒がよりよい教育環境で学習ができるよう、小中学校の消耗品、備品、学校図書等を整備し、教材の充実を図ってまいります。
- ・GIGAスクール構想により整備した教育用コンピュータ（タブレット端末）等のICT機器を活用した授業改善等、学びの充実を図ってまいります。
- ・岩手県統合型校務支援システムの運用により、児童生徒の個別最適な学びと、教職員の負担軽減を図ってまいります。
- ・児童生徒の安全、安心のため、老朽化が著しい施設の改修及び設備等の更新を行いながら、エネルギー効率の向上を図る取り組みを進め、適切な維持管理に努めてまいります。

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	①	推進体制の充実	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ●市民の学習活動に対する関心の多様化や高度化に応えるため、関係機関、団体及び市民等との連携・協働を進めます。 ●「宮古市生涯学習推進本部」及び「宮古市生涯学習推進会議」を中心として、いつでも、どこでも、だれでも学習できる環境づくりを進めます。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			156,069 円
活動実績・成果			
[生涯学習推進体制整備事業] ・行政、市民、団体及び関係機関と連携し、生涯学習の推進を図った。 ・「宮古市生涯学習推進本部」及び「宮古市生涯学習推進会議」については、会議体制の見直しを行い、開催を見送った。			
[リーダーバンク事業] ・市内の指導者、生涯学習関連施設、学習グループ等に関する情報等をまとめた「宮古市生涯学習まなびガイド」を作成し、インターネット及び施設等を通じて情報提供を図った。			
[生涯学習情報提供事業] ・生涯学習関連の催しを掲載する「市民カレッジニュース」を発行した。（558 部/月）			
[生涯学習相談体制整備事業] ・市民の自主的な学習を支援するため、学習機会や学習の場に関する相談に応じて指導者との連絡調整等を行った。			
[生涯学習ボランティア育成・活動推進事業] ・生涯学習ボランティアの登録を行った。（令和7年度登録者 32 人） ・県主催の「地域学校協働活動推進員地区別研修講座」に参加し、地域学校協働活動推進員のスキルアップを図った。（14 人が参加）			

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	②	学習環境の整備	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ●公民館、生涯学習センター、図書館の社会教育関連施設間の連携を充実させ、市民の学習機会の拡大を図ります。 ●老朽化した社会教育関連施設は、脱炭素化を念頭に計画的に改修などを行います。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			7,320,670 円
活動実績・成果			
[社会教育関連施設整備事業] 7,320,670 円 ・社会教育関連施設間の連携としては、田老公民館、新里・川井生涯学習センターが図書館分室機能の連携を行っている。 ・小山田地区センターの非常階段・モルタル補修塗装工事、近内地区センターの体育館出入口ガラス修繕、八木沢地区センターの冷暖房設備修繕、佐原地区センターの正面出入口ドア修繕等を行い、安心・安全に施設を利用できるように環境整備に努めた。 ・図書館利用者の快適性や蔵書の保護のため、空調機の修繕を行った。 ・中央公民館分館の窓ガラス交換修繕、千徳公民館・磯鶏公民館の冷暖房設備修繕、田老公民館の誘導灯修繕、新里生涯学習センターのトイレ臭突修繕、川井生涯学習センター舞台修繕等を行った。			

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	③	読書まち宮古の推進	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ●市民が広い視野と豊かな心を育む読書に親しむまち「読書まち宮古」を推進します。 ●乳幼児期から本に親しむ習慣を育むため、ブックスタート事業や読書ボランティアなどによる読み聞かせ活動の充実を図ります。 ●就学後は読書習慣の形成に取り組み、成人においては生涯にわたって読書に親しみ、心豊かな人生を過ごせるよう数多くの本との出会いを支援します。 ●身近なところに本のある環境づくりに努めます。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			107,022,870 円
活動実績・成果			
〔図書館運営事業〕 ・資料収集方針及び資料選定基準に従い、図書館資料選定委員会の意見を聞きながら資料の整備を行った。			
〔子ども読書活動支援事業〕 522,366 円 ・乳幼児の心と言葉を育む「ブックスタート事業」を実施し、乳幼児期から読書に親しむ環境の充実に努めた。（7か月児 172 冊、3 歳児 158 冊） ・本の読み聞かせを行う「おはなし会」は、図書館本館のほか田老・新里・川井分室等で実施した。（延べ 1,068 人が参加）			
〔読書まち宮古推進事業〕 106,500,504 円 ・おすすめ図書の紹介や子ども映画会、企画展等の各種読書推進事業を実施し、本に親しむ機会を提供した。あらゆる市民が利用しやすい、本に親しむ拠点となるよう、図書館サービスを充実させた。			

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	④	学校・家庭・地域の連携と協働	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ●「地域とともにある学校」「学校を核とした地域」をつくるため、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取り組みを推進します。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			16,696,546 円
活動実績・成果			
[学校を核とした地域づくりの推進] 15,616,886 円 ・地域学校協働活動において、統括的地域学校協働活動推進員を2名配置し、推進員と学校・地域との連携のサポートを行った。市内全小中学校に地域学校協働本部を設置し取り組みを推進した。			
[教育振興運動支援] 1,024,000 円 ・田老・新里・川井の各実践区で取り組んでいる、地域ぐるみで子どもを育てる教育振興運動を支援した。			
[3者合同大会「3ライズ・ミーティング」] 55,660 円 ・学校保健会及びPTA連合会の取り組みと、教育振興運動の各地区の取り組みや成果を共有する機会として、3者共催で「3ライズ・ミーティング」を開催し、参加者に活動を紹介し、更なる実践への意欲を高めた。（142人が参加）			

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	⑤	家庭及び青少年の学習活動の支援	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ●家庭、地域の教育力の向上を図るため、学習機会の提供や相談体制づくりを進めます。 ●主体的に学ぶ人間性と心豊かな青少年を育成するため、体験学習や学習支援を通して社会全体で子どもを育てる環境づくりを進めます。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			2,785,142 円
活動実績・成果			
[乳幼児期家庭教育学級] 100,822 円 ・子育てに役立つ知識の習得と、親同士の交流の場を提供する目的で、はなまるフレンズ等、乳幼児期家庭教育学級を開催し、学びの機会を提供した。（全17回、延べ315人が参加） [幼児期家庭教育学級] 20,000 円 ・幼稚園、保育所等において行われる家庭教育学級の実施を支援した。（2学級210人が参加） [小・中学校期家庭教育学級] 80,000 円 ・小・中学校において行われる家庭教育学級の実施を支援した。（10学級862人が参加） [高校生ふれあい体験事業] 16,780 円 ・子育ての次世代を担う高校生が、乳幼児とふれあい、子育てを学び、体験する高校生ふれあい体験事業を実施した。（高校生5人と親子11組26人が参加） [青少年体験学習推進事業] 140,086 円 ・姉妹都市を締結している黒石市が本市において行うリーダー研修事業に、市内の中学生が参加し、黒石市の中学生と交流した。（2校11人） ・地域や年齢の異なった仲間との体験学習を通して、少年世代の自主性や創造力を養うため、公民館及び生涯学習センターにおいて、少年教育事業を実施した。（15回238人） [世代間交流事業] 20,000 円 ・伝統文化の伝承や子どもと高齢者の世代間の交流を図るため、「小正月行事みずき団子ともちつき体験」を開催した。（59人が参加） [放課後子ども教室推進事業] 2,407,454 円 ・放課後の子どもの安心・安全な居場所づくりのため、川井地区の小学生を対象に放課後子ども教室を開設した。（年間237日）			

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	⑥	成人の学習活動の支援	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ●余暇の充実やキャリア形成等、多様化する学習ニーズに対応するため、生涯を通じて、自分にふさわしい学習を選択できるよう学習機会の提供を行います。 ●生涯学習を通じて地域コミュニティの基盤を支え、地域の将来を担う人材の確保・育成を図ります。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			3,313,143 円
活動実績・成果			
[20 歳のつどい事業] 1,015,718 円 ・20 歳を迎える青年を励まし、社会参加の意識を啓発するため、20 歳のつどいを開催した。また、式典の様子は YouTube で生配信した。（305 人が参加、出席率 71.4%） [成人学習活動促進事業] 2,086,163 円 ・市民の多様化・高度化する学習意欲に対応しながら、公民館及び生涯学習センターにおいて講座及び教室を実施した。（全 95 回、延べ 977 人が参加） ・市民が自主的・自発的に学習成果を発表する機会として、公民館まつり、生涯学習センターまつり、公民館フェスティバル等を開催した。 [高齢者学習活動促進事業] 203,802 円 ・高齢者が心豊かに生きがいをもって生活することができるよう、公民館及び生涯学習センターにおいて、社会経験者大学（宮古）、ゆうゆう講座（田老）、いきいきセミナー（新里）、しらかばカレッジ（川井）等の講座及び教室を実施した。（全 28 回、延べ 577 人が参加） [世代間交流事業]（再掲） 20,000 円 ・伝統文化の伝承や子どもと高齢者の世代間の交流を図るため、「小正月行事みずき団子ともちつき体験」を開催した。（59 人が参加） [みやこ市民カレッジ運営事業] ・公民館及び生涯学習センターで行う講座等のほか、地域創生センターで行われる講座等を市民カレッジニュースに掲載し、情報提供を行った。			

令和 7 年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	⑦	生涯学習関係活動団体の支援	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ●生涯学習活動や地域づくり活動を行う N P O や団体・グループに対して、継続的な活動が図られるよう、助言や指導を行います。 ●これらの団体などと連携して、多様化する市民の価値観や学習ニーズに対応した学習機会の提供を図ります。			
事務事業費（令和 7 年度決算見込額）			537,400 円
活動実績・成果			
[生涯学習関係団体育成事業] 319,000 円 ・宮古市地域婦人団体協議会及び宮古ユネスコ協会の自主的活動を支援するとともに、助言、指導を行い、団体の活動支援を図った。 [生涯学習講師派遣事業] 218,400 円 ・市民グループ等に講師派遣を行い、自主学習を支援した。（17 団体に講師を派遣、延べ 326 人が受講） [出前講座（まちづくりふれあい講座）] ・市政などに関する理解を深めてもらうことを目的に、市民グループなどの要望に応じて「まちづくりふれあい講座」として市職員を派遣した。（23 講座実施、延べ 290 人が受講）			

「生涯学習の推進の総括」

① 推進体制の充実

- ・庁内各部署で実施する事業に、それぞれ生涯学習につながる事業があります。事業の連携や統合・共同実施により、効率的・効果的に進めることができるものは積極的に連携等、事務事業の効率化を進める必要があります。
- ・生涯学習推進本部、生涯学習推進会議は、機能が類似する会議を整理・統合し、事務の合理化を図る必要があります。

② 学習環境の整備

- ・社会教育施設の老朽化が進んでいます。補助金等の財源を確保しながら計画的に改修工事を進め、今後も社会教育関連施設間の連携を継続してまいります。

③ 読書まち宮古の推進

- ・蔵書冊数が図書館の収蔵能力の限界に近づいています。計画的に蔵書の入れ替えを行い、内容の更新を図っていく必要があります。
- ・電子図書館サービスについては、蔵書の充実に併せ、住民への周知と利用者拡大により、図書館への来館が困難な方に対するサービスを充実していく必要があります。

④ 学校・家庭・地域の連携と協働

- ・コミュニティ・スクールと連携し、学校・地域・家庭が一体感を持ち、より良い関係を築いていくとともに、地域学校協働活動をさらに充実させていくよう取り組みます。
- ・地域学校協働本部及び田老・新里・川井地区教育振興運動推進協議会は、それぞれ学校・家庭・地域が連携した活動に取り組む組織であり、取り組みが一部重複していることから、組織の効率化を図る必要があります。

⑤ 家庭及び青少年の学習活動の支援

- ・乳幼児期家庭教育学級は、少子化の影響で参加者が減少しており、旧市町村地域ごとの開催が困難になっております。開催場所や開催方法について、子ども読書活動支援事業を含め、市こども家庭センター等関係機関と連携し、検討を進める必要があります。

⑥ 成人の学習活動の支援

- ・公民館事業において、市民が自主的・自発的に学習成果を発表する機会として、公民館まつりや舞台部門発表会を継続して実施する必要があります。
- ・20歳のつどいは、より多くの方に参加いただくため、市公式LINEなどのSNSの活用と、実行委員会組織と連携した周知の検討を進めてまいります。

⑦ 生涯学習関係活動団体の支援

- ・市民グループの学習要求に対応するため、引き続き、暮らしに身近なことをテーマにした講座を実施してまいります。

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	3	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	①	推進体制の充実	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ●スポーツ関係団体と連携・協力しながら、市広報、ホームページやSNS等での情報発信を行います。 ●スポーツイベントの開催に伴う参加者や観客との交流を推進します。 ●スポーツツーリズムによる交流人口の拡大に向けて、大会や合宿の誘致を進めます。 ●連携協定を締結した大学や関係団体・関係機関と協力しながら、スポーツ・レクリエーションの推進体制の充実を図ります。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			24,644,345 円
活動実績・成果			
[スポーツ・レクリエーション推進体制整備事業] ・各世代のスポーツ・レクリエーションの多様なニーズに対応する取り組みを実施した。夏休み及び冬休み期間には、市内小学生を対象とした「スポーツチャレンジデー」を開催し、ニュースポーツ体験等を実施した。一般財団法人宮古市体育協会が行う活動を支援し、スポーツ・レクリエーションの推進を図った。 [スポーツ・レクリエーションの情報発信] ・広報みやこ、市ホームページ及びSNS等で、スポーツイベント等の情報発信を行った。「第8回全国中学生野球大会 in 岩手（Kボール）」、「早稲田大学応援部合宿」、「宮古サーモン・ハーフマラソン大会」などのイベントについて、各種メディアでの情報発信を行った。 [スポーツツーリズム推進事業] ・スポーツを通じた交流人口の拡大のため、首都圏の大学等との合宿相談会に参加し、合宿誘致を図った。また、誘致促進のため、宮古市で合宿を行う市外団体に対して合宿補助金による助成を行った。 ・早稲田大学応援部 190名の合宿の受入れを行った。合宿期間中には、「宮古市ふれあい発表会」や「田老第一中学校での応援歌披露」を行い、約300名の市民に応援パフォーマンスを体感してもらい、応援部との交流の機会を設けた。			

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	3	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	②	活動機会の提供	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ●市民一人ひとりのライフステージに応じた競技会やスポーツ・レクリエーション活動を推進します。 ●各種大会、講習会や教室を開催するほか、スポーツ・レクリエーション団体の支援、総合型地域スポーツクラブの育成・充実を図ります。 ●中学校の休日の部活動の地域移行に向けて、学校、地域、競技団体と連携して取り組みます。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			28,911,867 円
活動実績・成果			
[スポーツ・レクリエーション活動支援事業] ・「海の日」宮古港カッターレース実行委員会へ補助金を交付した。 ・宮古サーモン・ハーフマラソン大会実行委員会へ補助金交付及びゲストランナーの招聘を行った。			
[活動機会の提供] ・中学校の休日の部活動の地域移行や学校の合同部活動等の取り組みに関する実証事業等を行った。 7 競技（陸上、柔道、剣道、野球、ラグビー、バレーボール、シーカヤック） ・一般財団法人宮古市体育協会へ補助金による支援を行い、各競技団体の大会開催、教室開催等により振興を図った。また、「小学生ドッジボール大会」「小学生縄跳び大会」を開催した。 ・高田道場によるスポーツチャレンジ事業（「高田式体育教室－ダイヤモンドキッズカレッジ－」）を開催した。 ・第 10 回宮古市長杯スナッグゴルフ大会及び第 4 回岩手県予選会が、一般財団法人日本ゴルフツアー機構の主催で開催された。市内の児童 7 名が岩手県代表選手として福島県で開催された全国大会に出場した。 ・小学校（13 校）、中学校（10 校）で学校開放事業を行い、年間で 113,126 人の利用実績があった。			
[総合型地域スポーツクラブ育成・普及] ・市内の総合型地域スポーツクラブと連携して、中学校の休日の部活動の地域展開の実証事業に取り組んだ。			

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	3	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	③	指導者等の確保・育成	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ●最新の指導法を学ぶ研修会や講習会等を開催し、指導者の確保・育成に取り組めます。 ●スポーツ大会等に関わるボランティアの確保・育成に取り組めます。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			17,391,239 円
活動実績・成果			
[指導者養成研修事業] ・「陸上競技選手育成強化支援事業」として、選手、指導者を対象に「陸上クリニック」を行った。オリンピック選手や多くの優秀な陸上選手を育て、陸上競技指導者として数々の功績を残している講師を迎え全国レベルの技術指導を受けた。 [スポーツ推進委員研修事業] ・スポーツ推進委員を対象として、研修会を開催した。近年、適度な運動量と手軽さから高齢者や生涯スポーツとして人気を集めている「マレットゴルフ」を体験し、地域スポーツ振興に必要な知識や技能を学ぶとともに、資質の向上を図った。			

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	3	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	④	アスリートの育成強化	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ●トップアスリート、トップチームの高度な技術や練習環境に触れる機会を提供します。 ●各団体がアスリートの育成、競技力向上のために行う講習会や実践指導に対する支援を行います。 ●上位大会へ進出したアスリート、チームの大会参加に対する支援を行います。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			17,391,239 円
活動実績・成果			
[スポーツ選手育成強化事業] ・各種競技協会において育成強化事業を実施し、8つの競技団体が他県チームとの強化試合等を通じて、競技力向上を図った。 ・陸上競技選手育成強化支援事業を実施し、市内外の児童生徒が陸上競技の基本動作や特殊な器具を使った練習等を体験し、全国レベルの技術指導を受けた。 ・日本体育大学との「体育スポーツ振興協定」を活用した「ジュニアスポーツ育成ドリームキャンプ事業」を実施し、日本体育大学の施設見学及び「怪我をしない体づくり」や栄養学等の指導を受け、日本トップレベルの選手・指導者と交流することで、選手の意識向上を図った。			
[スポーツ少年団活動等支援事業] ・全国大会に出場する選手等に賞賜金を交付した。児童生徒のスポーツ活動の振興を図るため、宮古市児童生徒大会等参加費補助金により選手等に支援を行った。			
[指導体制の充実] ・「ジュニアスポーツ育成ドリームキャンプ事業」において、指導者の知識、指導技術等の向上を図った。			

令和 7 年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	3	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	⑤	スポーツ環境の整備	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ●市民がライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう、体育施設を適正に維持管理します。 ●老朽化した体育施設は、脱炭素化を念頭に計画的に改修などを行います。			
事務事業費（令和 7 年度決算見込額）			326, 009, 715 円
活動実績・成果			
[体育施設改修事業] ・宮古市民総合体育館においては、多目的体育館屋根改修工事、高圧進相コンデンサ修繕工事、外壁等補修工事实施設計、フォーラム棟空調設備改修工事实施設計を行った。 ・千徳地区体育館においては、照明のＬＥＤ化工事、軒天修繕工事を行った。 ・姉ヶ崎サン・スポーツランドにおいては、高圧受変電設備更新工事实施設計を行った。			
[多様化するニーズに対応する活動支援] （再掲） ・中学校の休日の部活動の地域移行や学校の合同部活動等の取り組みに関する実証事業等を行った。 7 競技（陸上、柔道、剣道、野球、ラグビー、バレーボール、シーカヤック）			
[学校施設の開放事業] （再掲） ・小学校（13 校）、中学校（10 校）で学校開放事業を行い、年間で 113, 126 人の利用実績があった。			

「スポーツ・レクリエーションの振興の総括」

① 推進体制の充実

- ・一般財団法人宮古市体育協会、スポーツ推進委員協議会、各種スポーツ・レクリエーション関係団体と連携・協力し、スポーツ推進体制の充実を図ります。
- ・スポーツ合宿やスポーツイベント等の誘致を図り、スポーツを通じた交流人口の拡大を推進します。

② 活動機会の提供

- ・市民の多様化するニーズに対応するため、一般財団法人宮古市体育協会及び関係団体と連携・協力して研修事業の充実を図り、指導者の育成に努めます。
- ・スポーツ推進委員の活動の充実及び技術の向上を図るため、岩手県が実施する専門的な研修などにスポーツ推進委員を派遣し、専門的技術を習得し指導力の向上を図ります。

③ 指導者等の確保・育成

- ・あらゆる市民が運動能力や障がいの有無にかかわらず、スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実を図ります。
- ・中学校の休日の部活動の地域移行に向けて、学校、地域、競技団体と連携して取り組みます。

④ アスリートの育成強化

- ・高度な技術に触れることができる機会を提供するとともに、優れた技術を有する指導者により、国内外の大会などで活躍できるアスリートの育成強化を図ります。
- ・大学との連携により、全国レベルのスポーツ施設や指導を子どもに体験させることでアスリートの育成強化の推進を図ります。
- ・全国大会などに参加するアスリート、団体に対し、賞賜金や補助金により支援し、高いレベルを体感できる機会への参加を促進します。

⑤ スポーツ環境の整備

- ・ライフステージに応じたレクリエーション活動に親しめるよう、体育施設の適正な維持管理を行います。
- ・身近なレクリエーションの活動の場とするため、小・中学校の体育館等を開放し、有効利用を推進します。
- ・老朽化したスポーツ施設については、利用者の安全・安心を図るため、脱炭素を念頭に宮古市公共施設再配置計画（実施計画）に基づき計画的に改修などを行います。

令和 7 年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	4	文化の振興	担当課名
基本事業	①	芸術文化の推進体制の充実	文化課
施策・基本事業の方向 ●芸術文化団体と連携・協力しながら、イベントの開催内容等を広く周知するため、市広報、ホームページやSNS等での情報発信を行います。 ●落語や演劇、オーケストラコンサートなど、多くの市民が芸術文化に触れる機会を提供します。 ●東日本大震災以降、支援をいただいている団体とのつながりを今後も大切にし、市民が心の平穏を保ち、また心を豊かにする取り組みを推進します。			
事務事業費（令和 7 年度決算見込額）			107,687,957 円
活動実績・成果			
[文化振興一般事業] 104,556,013 円 ・多くの市民が多様な芸術文化に触れる機会を提供した。 （東北みやこ寄席 113 人、宮古市所蔵絵画展 109 人、みやこ市民文化祭 6,413 人） [文化振興一般事業【震災対応分】] 130,918 円 ・被災地復興支援による公演を開催した。 （“わ”で奏でる東日本応援コンサート 675 人、佐渡裕&スーパーキッズ・オーケストラ公演 505 人） [心の復興事業【震災対応分】] 3,001,026 円 ・多くの市民に芸術文化鑑賞の機会を提供し、震災からの「心の復興」を推進するため、みやこ復興寄席を開催した。 （みやこ復興寄席 272 人）			

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	4	文化の振興	担当課名
基本事業	②	芸術活動の機会の提供	文化課
施策・基本事業の方向 ● 芸術文化団体がジャンルや垣根を超え広く交流し、より創造性のある活動ができる環境づくりを進めます。 ● 小中学校団体鑑賞や児童生徒作品展示等、児童生徒に対する芸術鑑賞・創作発表の機会を提供します。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			3,783,220 円
活動実績・成果			
[小中学校団体鑑賞事業(文化振興一般事業【震災対応分】)] 3,783,220 円 ・学校から文化会館への送迎バスを手配し、成長段階（小学校低学年・小学校高学年・中学校）に応じた芸術鑑賞の機会を提供した。 [巡回小・中学校美術展] ・県内の児童生徒の作品を鑑賞する機会を提供し、市内児童生徒の創作意欲の向上に寄与した。			

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	4	文化の振興	担当課名
基本事業	③	芸術文化の人材育成	文化課
施策・基本事業の方向 ●本市ゆかりのアーティストや、復興支援で訪れるアーティスト・芸術活動団体との交流を通して、トップレベルで活躍できる人材や、将来にわたり地域の芸術活動を担う人材の育成を図ります。 ●地域に根づく芸術文化団体の後継者育成などの活動に対する支援や助成を行います。 ●中学校の休日の部活動の地域移行に向けて、学校、地域、芸術文化団体と連携して取り組みます。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			1,300,000 円
活動実績・成果			
[宮古市芸術文化協会補助金（文化振興一般事業）] 400,000 円 ・みやこ市民文化祭の事業費及び運営に対する助成を行った。 [宮古市郷土芸能団体連絡協議会補助金（文化振興一般事業）] 900,000 円 ・みやこ郷土芸能祭の事業費及び後継者育成などの活動に対する助成を行った。 [部活動地域移行] ・中学校の休日の文化部活動地域展開に向けて、事務局主催の地域クラブを設立し、学校教員のボランティアによる活動を支援した。			

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	4	文化の振興	担当課名
基本事業	④	活動拠点施設の整備充実	文化課
施策・基本事業の方向 ●芸術文化活動の拠点施設である市民文化会館の建物・設備の老朽化が進んでおり、脱炭素化を念頭に計画的に改修などを行います。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			330,997,684 円
活動実績・成果			
[市民文化会館管理事業] 330,997,684 円 ・市民の芸術文化の拠点施設である市民文化会館について、指定管理者制度により効果的、効率的な管理運営を行った。 ・老朽化が進む施設の改修事業の一環として、大ホール天井改修工事を完了した。 ・老朽化が進む施設で発生した修繕案件に対し対応した。 ・大ホール天井改修工事の期間を避けて、団体鑑賞事業やみやこ市民文化祭、市民芸能まつり、みやこ郷土芸能祭の事業を当初計画どおり実施した。			

令和7年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2025-2029）			
施 策	4	文化の振興	担当課名
基本事業	⑤	文化財の保存・活用	文化課
施策・基本事業の方向 ●未指定文化財を含めた「地域の宝」の掘り起こしや出土資料の学術研究など、計画的な調査・研究と資料収集を推進します。 ●宮古市文化財保存活用事業費補助金の活用により、文化財の修復や民俗芸能の伝承など、文化財の着実な保存・管理と支援に取り組みます。 ●宮古市総合防災ハザードマップと文化財の分布をリンクさせ、災害リスクを把握するとともに、防災・防犯体制の整備を進めます。 ●重要な文化財をデータベース化し、I C Tの導入と魅力的な情報発信を推進します。 ●崎山貝塚縄文の森ミュージアムや北上山地民俗資料館で行っている体験プログラムを引き続き実施するとともに、「まつり」行事などをボランティアや地域と協働で実施します。また、三陸ジオパーク協議会など関係機関との連携による文化財の公開・活用を図ります。 ●文化財を地域総がかりで保存・活用する体制として連携会議を運営するとともに、ボランティアと次世代の担い手を育成し、文化財の継承に努めます。			
事務事業費（令和7年度決算見込額）			119,698,425 円
活動実績・成果			
[指定文化財保存・管理事業] 394,129 円 ・市指定文化財を適切に保存管理するために、環境整備や現況確認調査、標柱の更新を行った。10 月には文化財の保存・活用に関し、重要な事項を審議するため宮古市文化財保護審議会を開催した。 [民俗芸能記録保存事業] 980,100 円 ・消滅の危機にある郷土芸能を映像により記録保存し、紹介（解説）ビデオを作製する目的で実施。8 か年計画の5 年目にあたり、5 件 15 団体の郷土芸能を映像に記録することができた。 [埋蔵文化財調査事業] 30,229,505 円 ・個人住宅の建築等に伴う試掘調査を2 件実施し、工事着手前に調査を終了することができた。過年度調査の「赤前Ⅲ遺跡・花原市遺跡発掘調査報告書」を刊行した。また、川井地域の夏屋・区界において遺跡分布調査を実施し、「遺跡分布調査報告書－川井地域－」を刊行した。 ・近内中村遺跡出土品の文化庁による現品照合を7 月と9 月に実施した。 ・墓目埋蔵文化財収蔵庫の維持管理を行い、さらに収蔵資料の再整理作業を行った。			

[文化財公開・活用事業] 2,224,994 円

- ・ 崎山貝塚縄文の森ミュージアムを拠点として、市民が歴史や文化に触れることのできる各種イベントや体験学習やインバウンド対応を強化するため、岩手県立大学と連携した展示音声ガイドの開発や英語表記の追加に伴う展示解説パネルの更新作業を実施した。

（入館者数は 4,012 人、縄文体験者数 1,088 人）

- ・ 7 月と 2 月には宮古市文化財保存活用地域計画に掲げる文化財の保存及び活用に関する取り組みを効果的に推進することに関し、意見を聴取するため宮古市文化財保存活用地域計画推進協議会を開催した。2 月には宮古市文化財保存活用地域計画に掲げる取り組みの一つで、旧川井村門馬地域に残る文化財を集約した「地域の宝マップ門馬区域編」が完成した。

[崎山貝塚縄文の森公園管理事業] 34,316,052 円

- ・ 崎山貝塚縄文の森公園の環境整備を随時行い、さらに崎山貝塚縄文の森公園複合施設の各種保守点検業務を行うことで適切な維持管理を行い、7 月と 1 月には消防訓練を実施した。

[北上山地民俗資料館運営事業] 13,495,944 円

- ・ 北上山地民俗資料館本館と小国分館を拠点に、有形民俗資料や地域の歴史や自然に触れることができる企画展や体験学習を実施した。

（入館者数 1,607 人、各種講座やイベントの参加者 578 人）

[北上山地民俗資料館管理事業] 33,656,590 円

- ・ 北上山地民俗資料館の施設や展示資料の維持管理を行うとともに、施設の空調設備改修工事を行い、市立図書館川井分室空調設備等を更新した。

[市史編さん事業] 4,401,111 円

- ・ 所蔵資料のうち 1 件の古文書群（計 234 点）の目録作成を行うとともに、5 人より新たに寄贈された史資料（計 102 件 119 点）について、整理・目録作成・デジタル化を行った。また、12 人及び 1 団体が所蔵する史資料（計 275 件 371 点）について、調査・撮影・解説等を行った。

「文化の振興の総括」

① 芸術文化の推進体制の充実

- ・芸術文化団体との連携による市広報やホームページ、SNSを活用した情報発信を進めたことで、イベントを広く周知することができ、市民が芸術文化に触れる機会の拡大につながりました。また、落語や絵画、オーケストラなど、多様な芸術文化の提供により、市民の文化体験の充実に寄与しました。さらに、東日本大震災以降の支援団体との関係を継続し、心の平穏や豊かさを育む取り組みを推進した点は、地域の文化基盤の維持に有効であったと言えます。

② 芸術活動の機会の提供

- ・児童生徒に対し芸術鑑賞の機会を提供するための送迎バスを手配し、また、県内の児童生徒の作品を鑑賞する機会を提供することで、児童生徒が芸術文化に触れる機会を確保し、芸術への興味関心や心の豊かさの育成を図りました。

③ 芸術文化の人材育成

- ・地域の芸術文化団体に対する後継者育成支援や助成を継続し、活動基盤の維持に寄与しました。一方、中学校の文化部活動の地域展開では実現に向け前進することができました。今後、文化部活動団体への支援のさらなる充実を図る必要があります。

④ 活動拠点施設の整備充実

- ・市民の芸術文化活動の拠点施設である市民文化会館の管理運営については、指定管理者の専門性を生かした事業実施により、効果的で効率的な運営を行うことができました。また、老朽化が進む文化会館の大ホール天井改修工事については、計画的な改修により各種文化事業への影響を避け、市民の芸術文化活動の拠点としての機能維持に努めました。

⑤ 文化財の保存・活用

- ・文化財を次世代へ確実に継承していくために、文化財の現状把握や公開活用事業を行い、合わせて「宮古市文化財保存活用地域計画」に掲げる事業を行いました。さらに、宮古市文化財保存活用地域計画推進協議会を開催し、観光団体、地域民間事業者、学校、専門家などとの連携を図りました。今後も重点事業の一つである「地域の宝マップ」事業を展開していくなど、魅力ある文化財の保存と活用を推進していく必要があります。
- ・崎山貝塚縄文の森ミュージアム及び北上山地民俗資料館では、市民や観光客向けに各種イベントや体験学習、企画展等を実施しました。今後もSNSを活用した積極的な情報発信や外国人観光客への対応の向上や、各施設の特色を生かした魅力的な事業の展開を図る必要があります。

4 学識経験者の意見

(1) 宮古地区退職校長会 山名 秀樹 氏

・【共通部分】教育委員会の活動状況について

平成 27 年度から総合教育会議を開催し、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図りながら民意を反映した教育行政を推進してきたことは、系統的な教育振興の推進と充実を図る上で有効な手立てであったと感じました。

令和 7 年度に教育委員会会議を定例会 12 回、臨時会 3 回開催し、43 件の議案と 20 件の報告、条例改正、規則改正等、訓令改正の審議を通して、文化財保全等の長期にわたる対応や時代の流れに沿って対応すべき問題等、柔軟に丁寧に対応してきたことが分かりました。

・【専門分野】施策別の主要事務の点検、評価（学校教育の充実）

確かな学力を育む教育の推進について、教育委員会が、学校教育の充実のために継続的にご支援いただいていることに、改めて敬意と感謝の念を表します。「子どもがどのように学ぶか」を視点とし、「子どもを主語にした学び」の実現に取り組むという方向性は、大変すばらしいものだと感じました。長期的な視点を持って粘り強く学校現場を支援していただきますよう期待いたします。

I C T 機器の効果的な活用については、予算を確保し、継続的に支援をいただいていることを評価いたします。機器を活用しただけで子どもたちの興味関心が高まった時代は過ぎました。「何を学んだか、何が身についたか、充実感を得られたか、新しい知識や技能が得られたか」という学びの質が問われる時代です。A I 技術の発展に伴い、「A I を使う力の育成」が求められています。それがストレートに教育現場に持ち込まれ、教員の能力や資質任せにされることの無いように継続的な支援をお願いいたします。予算的なものや人材派遣の問題も含めて課題は多くあると思いますが、学校現場への継続的な支援を重ねてよろしくをお願いいたします。

豊かな心を育む教育の推進について、「復興・発展を支える人づくり」の推進のために、友好都市等交流事業や図書館教育を始めとした様々な施策を継続的に推進していることは意義のあることと思います。成果を数値化することは難しい面もあり、今の体験や学びが子どもたちにいつ役立つかわかりませんが、子供たちの心に残る多種多様な事業を今後とも継続されることを願います。その意味で「こどものまち『みやっこタウン 2025』」の開催は、素晴らしいと思いました。首都圏や県では、すでにこのようなキャリア教育が展開されていると聞きますが、宮古市でも市内の企業団体の協力を得て開催できたことは有意義なことだと評価いたします。さらなる充実発展を期待しています。人生百年時代を迎え、学校卒業後の進路選択だけが地域を支える人づくりではもちろんありません。子どもたちが将来、故郷を離れて生活しても、様々な人生等の選択場面において心に残る昔の故郷の豊かさやありがたさが将来の自己決定に影響を与えるきっかけとなることを望みます。

健康な体を育む教育の推進について、中学校の部活動支援の継続的な実施に感謝いたします。併せて、部活動の円滑な地域移行に関する取り組みについて、学校現場

のみならず地域の競技団体との連携調節にご尽力いただいたことを評価いたします。個人の競技力向上のために、内陸や県外のジュニアスポーツクラブに通う子どもの存在と、それを巡って周囲との軋轢が生じる等、他地域においては様々な問題があると聞いております。部活動が子どもたちだけでなく教職員も含めて、従来育成してきた力とこれから目指す姿とどのように折り合いをつけるか、一つ一つ粘り強く課題を解決して推進していかれることを希望いたします。

特別支援教育の充実について、支援員や相談員の配置を継続的に取り組んでいることを評価いたします。一人ひとりに向き合って相談を展開し、その子なりの自己決定を促すためにカウンセリングマインドを持って接していくためには、マンパワーが必要です。子どもの成長を信じてじっくり待ち、声かけをして励ますためには、教師側に心の余裕が無ければなりません。そのために学校現場では、管理職も含めて個別にチームを組んで取り組むことが重要です。苦手なことをできるよう求めるよりも、今できることやできそうなことを一つでも多く見つける教職員の共感的なまなざしが、予防的な生徒指導の実践に活きて働きます。特別支援教育の考え方は、生徒指導に相通じるものが多々あります。さらなる教職員研修の充実とともに継続的な支援をよろしくお願いいたします。

(2) 宮古市社会教育委員 加藤 敏子 氏

・【共通部分】教育委員会の活動状況について

総合教育会議・教育委員会会議が適正に開催され、審議が適切に行われたことを確認しました。今後も総合教育会議等を通して、民意を反映した教育行政を期待いたします。

・【専門分野】施策別の主要事務の点検、評価（生涯学習の推進）

推進体制の充実は、「宮古市生涯学習まなびガイド」や「市民カレッジニュース」などでわかりやすく情報が伝えられ、利用者の自主的な学習へと結びつく効果がみられていると思います。

読書まち宮古の推進については、図書館での企画展等、図書館サービスが充実しているのを実感しています。ただ、電子図書館サービスについては、周知不足を感じますので、引き続き必要とする人に届くよう取り組みをお願いします。

学校・家庭・地域の連携と協働では、「地域とともにある学校」を推進するにあたり、それぞれの地区での活動が「3ライズ・ミーティング」等で発表され、今後の実践への意欲を高める場となっていることを感じました。地域で育てられた子ども達は、地域に対する愛着が育ち、それは地元愛として育まれていくものと思います。

家庭及び青少年の学習活動の支援については、少子化は避けられないことですが、家庭教育学級などそれぞれの年代の親のニーズを汲み取り、開催場所や開催方法など誰でも参加しやすい方法で検討していただけたらと思います。親が親になる手助けも必要かと思います。

成人の学習活動の支援及び生涯学習関係活動団体の支援について、市民が高齢に

なっても生き生きと生活できるような様々な学習や活動の場があり、また発表の場があることはとても有意義であり、今後とも継続していったほしいと思います。

引き続き、市民に寄り添った学習機会が提供されることを願っております。

(3) 宮古市スポーツ推進委員協議会 川崎 賢一 氏

・【共通部分】教育委員会の活動状況について

教育委員会の活動状況については、教育委員会会議が毎月 of 定例会（12回）と臨時会（3回）の計15回の審議機会が確保されており、細部事項に及ぶ審議と報告がなされ、内部での事務の管理及び執行の体制が確立されていることが確認できました。

・【専門分野】施策別の主要事務の点検、評価（スポーツ・レクリエーションの振興）

推進体制の充実については、スポーツイベントの実施に際して、市広報、ホームページやSNS等で情報発信に取り組むことで、スポーツをする楽しみに留まらず、見て楽しむ側面での推進に活かされていることが評価されます。スポーツツーリズムの推進では、学生等の合宿誘致を積極的に行い、かつ費用の助成も相まって事業が着実に推進されていると見受けられます。加えて、宮古市を訪れるそのような方々が市民と交流する機会が増進されることを期待します。

活動機会の提供については、人口減少が進む中で、中学生の休日の部活動の地域移行や学校の合同部活動等の取り組みが社会での大きな課題であり、かつスポーツ教育のあり方を見直す大切な取り組みです。その上で、具体的に7競技に対して実証事業を進めたことは大きな成果であると感じます。今後、更に地域の事情を踏まえ、人材の掘り起こしをし、地域が育てるスポーツ教育の実現を期待します。

指導者等の確保・育成については、「陸上競技クリニック」事業のような全国レベルの技術指導を受ける機会は、指導者の総合的な指導力向上に極めて有効であると位置付けられます。今後も、広く指導者層向けの研修機会が確保されることを期待します。スポーツ推進委員は、地域のスポーツ振興に資する役割を期待されています。ニュースポーツ等の普及に向け、資質向上の機会を持つことは大きな意義があると思われます。加えて、担い手不足が全国的な課題であり、宮古市も同様であることから、人材の確保に向けた取り組みが推進されることを期待します。

アスリートの育成強化については、各種競技協会が育成強化事業を実施し、かつ強化試合を行い、競技力向上を図ったことは、アスリートの育成に向けた大きな成果だったと捉えられます。また、日本体育大学との「体育スポーツ振興協定」を活用した「ジュニアスポーツ育成ドリームキャンプ事業」は若年期から日本のトップレベル層に触れ、指導や交流が図られる貴重な体験事業と思われるので、今後も継続されることを期待します。

スポーツ環境の整備については、体育施設における老朽化に対して、適宜改修事業を進めている状況であることを確認できました。改修事業は不可欠であるとともに、宮古市で開催される大会の強化に向けた体育施設の向上にも期待したいです。具体

的には、陸上競技場が沿岸地域で唯一県大会が開催される施設でありながら、サブトラックが無い環境下にあります。大会の発展に繋がる環境の整備についても検討していただくことを期待します。学校開放事業では、年間 11 万人強の利用実績が評価されます。今後も、市民がより使い勝手の良い学校施設の開放事業に向けて前進されることを期待します。

(4) 宮古市芸術文化協会 小野寺 文雄 氏

・【共通部分】教育委員会の活動状況について

教育委員会会議の定例会 12 回に加え、臨時会が 3 回開催されるなど、適時に堅実かつ適切な運営がなされていることが確認できました。事務局職員や、各委員の皆様による、真摯な取り組みがなされていることが伺えました。

I Tをはじめとする社会環境の変化が著しい現在、今後も加速すると見込まれている少子化を見据え、必要となる情報把握と分析及びその対策に、引き続き前向きに取り組んでいただくことを期待します。

・【専門分野】施策別の主要事務の点検、評価（文化の振興）

各取り組みについて、令和 7 年度における様々な問題点への対応が、適切に進められていることが確認できました。芸術文化活動につきましても、今後も切れ目のないご支援とご協力を期待しています。

現在の文化活動は、人口減少や関係者の高齢化、若年層の参画につながる施策等が未だ十分とは言えない現状にあり、危機感を抱き続けています。その例の一つとして、毎年 10 月から 11 月にかけて実施している「みやこ市民文化祭」は、宮古市の芸術文化活動における最大の催しであり、市、市教育委員会、市芸術文化協会、市民文化会館指定管理者（特非）いわてアートサポートセンターの四者の共催により実施していますが、宮古市における芸術文化活動を今後長く継続していくためにも、これら四者の協力体制の再構築について検討を進める必要があると感じています。

市民文化会館に関して、昨年度も新たな改修が行われ、丁寧な管理運営と相まって市民の信頼を集めている点が高く評価できます。ただ、東日本大震災以降、度重なる改修を重ねているにも関わらず、次々に新たな問題が浮き彫りになっている現状に、今後の施設のあるべき姿の検討にも目を向けていくべき時期を迎えていると感じています。

各地域の文化財について、保護管理が堅実になされていることが確認できます。各施設の効果的な運用や P R も積極的になされており、当該施設のイベント等においては、多くの来場者が訪れ楽しんでいる光景に出会います。地域の良き伝統文化の保存伝承や伝承者の育成、記録保存等をこれまで以上に積極的に推し進めていただくことを期待しています。

5 おわりに

令和7年度の教育委員会においては、「宮古市教育大綱（令和7年度～令和11年度）」及び「宮古市教育振興基本計画（2025-2029）」の初年度として、学校教育、生涯学習、スポーツ・レクリエーション、文化の各分野において、計画に基づく施策の着実な推進に取り組んでまいりました。

学校教育の分野では、ICT環境の整備や特別支援教育の充実等を進め、子どもたちが安心して学ぶことのできる環境づくりを図り、生涯学習の分野では、「読書まち宮古」の推進や地域との協働を通じて、市民の学びを支える基盤の整備を進めました。

スポーツ・レクリエーションの分野では、地域移行を含む部活動支援や総合型地域スポーツクラブの育成を通じて地域スポーツの振興を図り、文化の分野では、郷土芸能や文化財の保存・活用を通じて、宮古市の歴史と伝統を次世代へ継承する取り組みを進めました。

令和8年度は、サーモン教室を中心とした不登校やいじめ問題等への適切な対応、フリースクールの利用料に対する支援などによる「安心できる居場所の創出」、友好都市交流事業や青少年体験学習推進事業等による「視野を広げる機会の創出」、様々なツールを活用して学びをつなげ、探究する力を養う「ICTの積極的な活用」を教育行政方針の最重点事項に位置付けました。

引き続き、教育のあるべき姿を見据えながら、「市民一人ひとりが自分らしく生きることができる人づくり」に取り組んでまいります。

今回、外部評価として学識経験者の方からいただきましたご意見・ご指摘については、教育現場の意向や実態等を考慮しながら、出来る限り教育行政の施策に反映させていただきます。

最後に、この点検・評価の実施に当たり、外部評価員をお引き受けいただき、貴重なご意見・ご提言を賜りました4名の学識経験者の皆様に、心より感謝申し上げます。